

野村エマージング・ソブリン 円投資型1212

運用報告書(全体版)

第39期（決算日2022年9月26日） 第40期（決算日2022年12月26日）

作成対象期間（2022年6月25日～2022年12月26日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信／内外／債券	
信託期間	2012年12月26日から2023年12月25日までです。	
運用方針	野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券への投資を通じて、主として米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に実質的に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として、運用を行なうことを基本とします。マザーファンド受益証券の組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。為替ヘッジはマザーファンドにおいて行なうため、原則として行ないません。	
主な投資対象	野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、公社債に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	株式への直接投資は行ないません。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への直接投資は行ないません。株式への投資は転換社債を転換したもの等に限り、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に原則として経費控除後の利子・配当等収益と売買益から、利子・配当等収益等の水準及び基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。	

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額					受 益 者 利	債 入 比 率	債 券 比 率	元 残 存 本 率	
		税 分	込 配	み 金	期 騰 落	中 額					期 騰 落
(設定日)	円		円		円		%		%		%
2012年12月26日	10,000		—		—		—		—		100.0
1期(2013年3月25日)	9,702		60		△238	△2.4	△9.7	99.5	—		99.2
2期(2013年6月24日)	9,110		45		△547	△5.6	△15.8	96.3	—		95.0
3期(2013年9月24日)	9,145		45		80	0.9	△9.4	96.8	—		86.4
4期(2013年12月24日)	9,086		45		△14	△0.2	△7.2	97.5	—		80.6
5期(2014年3月24日)	9,165		45		124	1.4	△4.8	96.4	—		73.0
6期(2014年6月24日)	9,412		45		292	3.2	△2.0	97.1	—		65.9
7期(2014年9月24日)	9,383		45		16	0.2	△1.6	99.6	—		60.0
8期(2014年12月24日)	9,421		45		83	0.9	△1.0	96.4	—		55.6
9期(2015年3月24日)	9,492		45		116	1.2	△0.4	97.7	—		52.1
10期(2015年6月24日)	9,386		45		△61	△0.6	△0.6	97.5	—		49.1
11期(2015年9月24日)	9,212		45		△129	△1.4	△1.0	95.8	—		46.1
12期(2015年12月24日)	9,058		45		△109	△1.2	△1.3	95.6	—		41.5
13期(2016年3月24日)	9,365		45		352	3.9	△0.1	97.5	—		36.0
14期(2016年6月24日)	9,524		45		204	2.2	0.5	92.1	—		32.1
15期(2016年9月26日)	9,688		45		209	2.2	1.0	97.4	—		28.8
16期(2016年12月26日)	9,214		45		△429	△4.4	△0.1	101.2	—		26.6
17期(2017年3月24日)	9,358		45		189	2.1	0.3	94.1	—		24.8
18期(2017年6月26日)	9,496		45		183	2.0	0.7	99.6	—		23.7
19期(2017年9月25日)	9,541		45		90	0.9	0.9	100.3	—		22.8
20期(2017年12月25日)	9,438		45		△58	△0.6	0.7	96.6	—		21.9
21期(2018年3月26日)	9,163		45		△230	△2.4	0.2	95.1	—		21.2
22期(2018年6月25日)	8,927		45		△191	△2.1	△0.1	96.6	—		20.2
23期(2018年9月25日)	8,728		45		△154	△1.7	△0.4	99.7	—		19.3
24期(2018年12月25日)	8,675		45		△8	△0.1	△0.4	95.8	—		18.8
25期(2019年3月25日)	8,858		45		228	2.6	△0.0	96.4	—		18.3
26期(2019年6月24日)	9,077		45		264	3.0	0.4	97.0	—		17.8
27期(2019年9月24日)	9,154		45		122	1.3	0.6	98.2	—		17.1
28期(2019年12月24日)	9,081		45		△28	△0.3	0.5	98.2	—		16.2
29期(2020年3月24日)	8,133		45		△903	△9.9	△0.8	99.8	—		15.6
30期(2020年6月24日)	9,066		45		978	12.0	0.6	96.9	—		15.2
31期(2020年9月24日)	9,196		45		175	1.9	0.8	95.2	—		14.8
32期(2020年12月24日)	9,454		45		303	3.3	1.1	97.3	—		14.3
33期(2021年3月24日)	9,151		45		△258	△2.7	0.8	101.0	—		13.7
34期(2021年6月24日)	9,318		45		212	2.3	1.0	98.7	—		13.4
35期(2021年9月24日)	9,275		45		2	0.0	1.0	97.4	—		13.0
36期(2021年12月24日)	9,133		45		△97	△1.0	0.9	99.5	—		12.7
37期(2022年3月24日)	8,634		45		△454	△5.0	0.3	101.8	—		12.5
38期(2022年6月24日)	8,082		45		△507	△5.9	△0.2	103.4	—		12.1
39期(2022年9月26日)	7,819		45		△218	△2.7	△0.4	101.9	—		11.9
40期(2022年12月26日)	7,908		45		134	1.7	△0.3	90.6	—		11.4

* 基準価額の騰落額および騰落率は分配金込み。

* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

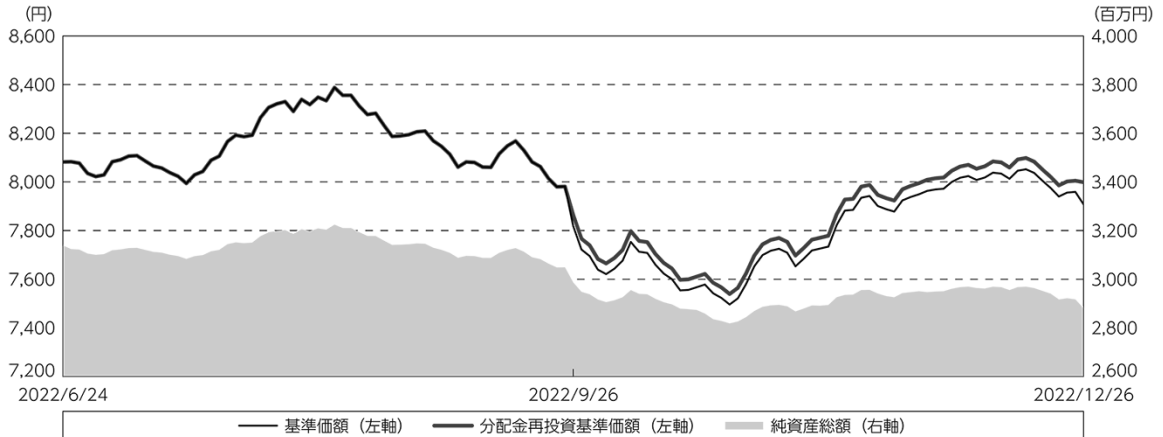
○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準	価 額	債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
			騰 落 率		
第39期	(期 首) 2022年 6 月24日	円 8,082	% —	% 103.4	% —
	6 月 末	8,022	△0.7	104.2	—
	7 月 末	8,264	2.3	99.2	—
	8 月 末	8,146	0.8	100.8	—
	(期 末) 2022年 9 月26日	7,864	△2.7	101.9	—
第40期	(期 首) 2022年 9 月26日	7,819	—	101.9	—
	9 月 末	7,621	△2.5	102.6	—
	10月 末	7,717	△1.3	103.0	—
	11月 末	7,969	1.9	93.4	—
	(期 末) 2022年12月26日	7,953	1.7	90.6	—

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○作成期間中の基準価額等の推移



第39期首：8,082円

第40期末：7,908円 (既払分配金(税込み):90円)

騰落率：△ 1.0% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首(2022年6月24日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単位型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は、1.0%の下落(分配金を決算日に再投資したと仮定して計算。)

基準価額は、第39期期首の8,082円から第40期期末7,908円(分配後)となりました。第39期および第40期に分配金をそれぞれ45円お支払いしましたので、分配金を考慮した値下がり額は84円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン(利息収入)。

(下落) 保有していた債券の値下がり(キャピタルロス)。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○投資環境

当作成期を通じて、10年米国債利回りは上昇（価格は下落）しました。

米国では、CPI（消費者物価指数）の前年比伸び率が高水準で推移する中で、FRB（米連邦準備制度理事会）がインフレ率抑制に向けた金融引き締め姿勢を示し、積極的に利上げを行ないました。このような環境下、10年米国債利回りは上昇しました。

米ドル建てエマージング国債市場全体の対米国債スプレッド（利回り格差）は、縮小しました。

南アフリカでは、同国財務省が中期予算計画の財政見通しを発表しました。鉱業部門からの税収が好調であったことなどを背景に同国の財政赤字の見通しに改善が見られました。このような環境下、米ドル建て南アフリカ債券の対米国債スプレッドは縮小しました。

ハンガリーでは、EU（欧州連合）欧州委員会がハンガリーの汚職を理由に同国への補助金の一時停止を勧告したことなどから、EUと同国の関係性が懸念されました。このような環境下で、米ドル建てハンガリー債券の対米国債スプレッドは小幅な縮小に留まりました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村エマージング・ソブリン 円投資型1212]

作成期を通じて「野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド」受益証券の組入比率を高位に維持しました。

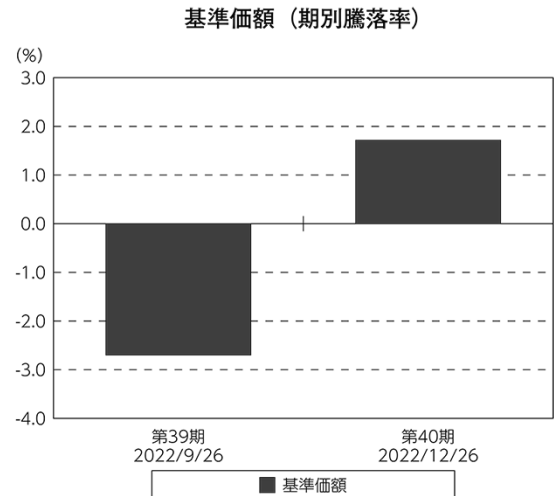
[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8カ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から7月末までは、ブラジル、インドネシア、中国、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアに投資を行ないました。8月に中国からハンガリーへの投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、作成期間中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

分配金につきましては基準価額水準等を勘案し、経費控除後の利子・配当等収益等から次の通りとさせていただきます。なお、留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

	第39期	第40期
1 口当たり分配金（税込み）	45円	45円

◎今後の運用方針

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド]

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

[野村エマージング・ソブリン 円投資型1212]

[野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド] 受益証券を高位に組み入れ、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1口当たりの費用明細

(2022年 6月25日～2022年12月26日)

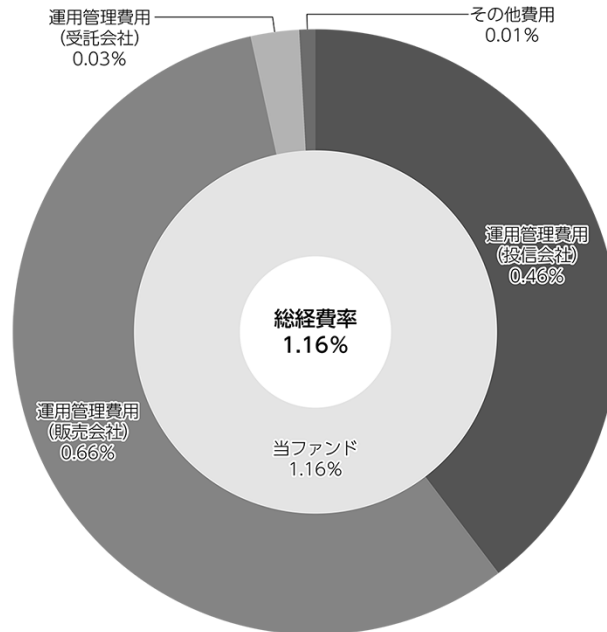
項 目	第39期～第40期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 47	% 0.585	(a)信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(19)	(0.234)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(27)	(0.335)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(1)	(0.017)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	1	0.007	(b)その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(0)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	48	0.592	
作成期間の平均基準価額は、7,956円です。			

* 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.16%です。



(注) 当ファンドの費用は1口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2022年6月25日～2022年12月26日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第39期～第40期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千口 830	千円 1,000	千口 199,193	千円 241,700

*単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2022年6月25日～2022年12月26日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年12月26日現在)

親投資信託残高

銘柄	第38期末	第40期末	
	口 数	口 数	評 価 額
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千口 2,542,387	千口 2,344,024	千円 2,874,476

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年12月26日現在)

項 目	第40期末	
	評 価 額	比 率
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド	千円 2,874,476	% 98.1
コール・ローン等、その他	55,053	1.9
投資信託財産総額	2,929,529	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンドにおいて、第40期末における外貨建純資産（14,733,189千円）の投資信託財産総額（15,998,895千円）に対する比率は92.1%です。

*外貨建資産は、第40期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝132.33円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第39期末	第40期末
	2022年 9 月26日 現在	2022年12月26日 現在
	円	円
(A) 資産	3, 015, 949, 234	2, 929, 529, 588
コール・ローン等	32, 312, 328	30, 952, 787
野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド(評価額)	2, 980, 536, 906	2, 874, 476, 801
未収入金	3, 100, 000	24, 100, 000
(B) 負債	29, 277, 843	49, 253, 004
未払収益分配金	17, 188, 695	16, 390, 710
未払解約金	2, 803, 250	24, 589, 340
未払信託報酬	9, 268, 139	8, 256, 928
未払利息	46	47
その他未払費用	17, 713	15, 979
(C) 純資産総額 (A－B)	2, 986, 671, 391	2, 880, 276, 584
元本	3, 819, 710, 000	3, 642, 380, 000
次期繰越損益金	△ 833, 038, 609	△ 762, 103, 416
(D) 受益権総口数	381, 971口	364, 238口
1口当たり基準価額 (C／D)	7, 819円	7, 908円

(注) 設定年月日2012年12月26日、設定元本額は31,858,600,000円、第39期首元本額は3,883,650,000円、当作成期末における元本残存率は11.4%、1口当たり純資産額は、第39期7,819円、第40期7,908円です。

○損益の状況

項 目	第39期	第40期
	2022年 6 月25日～ 2022年 9 月26日	2022年 9 月27日～ 2022年12月26日
	円	円
(A) 配当等収益	△ 689	△ 1, 245
支払利息	△ 689	△ 1, 245
(B) 有価証券売買損益	6, 642, 124	9, 299, 617
売買益	6, 656, 294	9, 304, 811
売買損	△ 14, 170	△ 5, 194
(C) 有価証券評価差損益	△ 80, 381, 218	47, 140, 278
(D) 信託報酬等	△ 9, 332, 106	△ 8, 421, 778
(E) 当期損益金 (A＋B＋C＋D)	△ 83, 071, 889	48, 016, 872
(F) 前期繰越損益金	△744, 810, 740	△833, 038, 609
(G) 解約差損益金	12, 032, 715	39, 309, 031
(H) 計 (E＋F＋G)	△815, 849, 914	△745, 712, 706
(I) 収益分配金	△ 17, 188, 695	△ 16, 390, 710
次期繰越損益金 (H＋I)	△833, 038, 609	△762, 103, 416

* 損益の状況の中で (D) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
* 損益の状況の中で (G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

	第39期	第40期
1口当たり分配金 (税込み)	45円	45円

〇お知らせ

該当事項はございません。

〇（参考情報）親投資信託の組入資産の明細 (2022年12月26日現在)

<野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド>

下記は、野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド全体(13,006,615千円)の内容です。

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	第40期末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	114,500	109,409	14,478,214	90.8	34.5	56.9	22.4	11.5
合 計	114,500	109,409	14,478,214	90.8	34.5	56.9	22.4	11.5

* 邦貨換算金額は、第40期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

* S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄			第40期末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
国債証券	COLOMBIA GLOBAL		8.125	13,400	13,841	1,831,649	2024/5/21
	FED REPUBLIC OF BRAZIL		4.5	15,000	13,995	1,851,981	2029/5/30
	HUNGARY		5.25	14,000	13,539	1,791,622	2029/6/16
	REPUBLIC OF INDONESIA		3.4	7,600	7,024	929,527	2029/9/18
	REPUBLIC OF PERU		4.125	14,000	13,516	1,788,674	2027/8/25
	REPUBLIC OF SOUTH AFRICA		5.875	14,600	13,757	1,820,575	2030/6/22
	ROMANIA		3.0	15,000	13,433	1,777,621	2027/2/27
	UNITED MEXICAN STATES		3.75	1,900	1,806	239,069	2028/1/11
	UNITED MEXICAN STATES		4.5	12,000	11,564	1,530,375	2029/4/22
普通社債券 (含む投資法人債券)		PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	5.45	7,000	6,930	917,117	2028/5/21
合 計						14,478,214	

* 邦貨換算金額は、第40期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

野村エマージング・ソブリン 円投資型 マザーファンド

運用報告書

第11期（決算日2022年10月24日）

作成対象期間（2021年10月26日～2022年10月24日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	主として、米ドル建ての新興国の国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債に投資し、安定した収益の確保と信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なうことを基本とします。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。
主な投資対象	米ドル建ての新興国の国債等およびわが国の国債を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への直接投資は行ないません。株式への投資は、転換社債を転換したもの等に関し、株式への投資割合は信託財産の純資産総額の5%以内とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		騰 落 率	中 率			
7 期 (2018年10月24日)	円		%	%	%	百万円
	11, 761		△ 6. 0	98. 7	—	31, 103
8 期 (2019年10月24日)	12, 761		8. 5	98. 9	—	28, 459
9 期 (2020年10月26日)	13, 420		5. 2	95. 6	—	24, 863
10期 (2021年10月25日)	13, 588		1. 3	101. 0	—	21, 641
11期 (2022年10月24日)	11, 535		△15. 1	103. 2	—	15, 683

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率
		騰 落 率	率		
(期 首) 2021年10月25日	円		%	%	%
	13, 588		—	101. 0	—
10月末	13, 637		0. 4	99. 4	—
11月末	13, 535		△ 0. 4	99. 2	—
12月末	13, 704		0. 9	100. 1	—
2022年 1 月末	13, 460		△ 0. 9	99. 5	—
2 月末	13, 243		△ 2. 5	99. 0	—
3 月末	13, 113		△ 3. 5	103. 2	—
4 月末	12, 749		△ 6. 2	106. 5	—
5 月末	12, 734		△ 6. 3	102. 0	—
6 月末	12, 231		△10. 0	104. 4	—
7 月末	12, 613		△ 7. 2	99. 4	—
8 月末	12, 445		△ 8. 4	101. 0	—
9 月末	11, 718		△13. 8	102. 8	—
(期 末) 2022年10月24日	11, 535		△15. 1	103. 2	—

* 騰落率は期首比です。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

* 基準価額は、15.1%の下落

基準価額は、期首13,588円から期末11,535円となりました。基準価額の下落額は2,053円となりました。

(上昇) 債券を保有していたことによるインカムゲイン（利息収入）。

(下落) 保有していた債券の値下がり（キャピタルロス）。

(下落) 対円で為替ヘッジを行なったことによるコスト。

○当ファンドのポートフォリオ

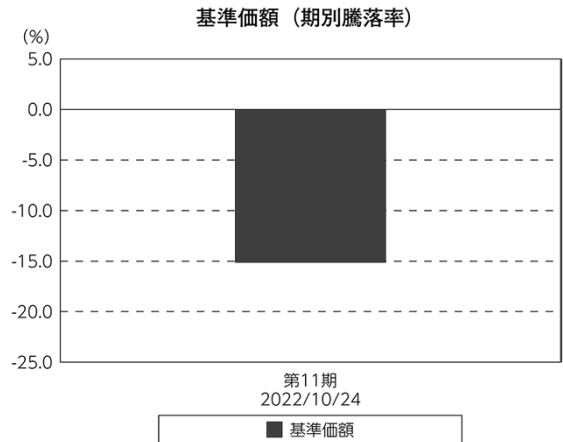
信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して決定した投資対象国の中から、金利水準が相対的に高い8ヵ国を選定し、ほぼ均等に投資しました。当作成期首から4月末までは、ブラジル、インドネシア、中国、ハンガリー、南アフリカ、メキシコ、フィリピン、コロンビアに投資を行ないました。5月にフィリピン、ハンガリーからルーマニア、ペルーへの投資国入れ替えを実施した他、8月に中国からハンガリーへの投資国入れ替えを実施し、投資国をブラジル、インドネシア、ハンガリー、ルーマニア、南アフリカ、メキシコ、ペルー、コロンビアとしました。ポートフォリオのデュレーションは4～6年程度を維持しました。また、外貨建資産については、対円でヘッジを行ない、為替リスクの低減を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは原則として、BB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。

また、ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。このような当運用の値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

今後の運用につきましては、引き続きBB格相当以上の外貨建て長期債格付を有している新興国の米ドル建ての国債等（国債、政府保証債、政府機関債等）およびわが国の国債を投資対象とし、信用力、為替ヘッジ後の利回り水準に加え、経済ファンダメンタルズ、流動性、市場規模等を勘案して、投資対象国および国別の投資比率を決定します。また、投資対象国は5～10カ国程度を基本とし、定期的に見直します。ポートフォリオのデュレーションは、原則として5年を中心として、その±3年程度の範囲内に維持します。外貨建資産については、原則として為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2021年10月26日～2022年10月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円 1	% 0.011	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	1	0.011	
期中の平均基準価額は、12,931円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2021年10月26日～2022年10月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外 国	アメリカ		千米ドル	千米ドル
		国債証券	51,956	82,978
		社債券（投資法人債券を含む）	—	23,714

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2021年10月26日～2022年10月24日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2022年10月24日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	額面金額	当 期		期 末		残存期間別組入比率		
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組 入 比 率			
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
	千米ドル	千米ドル	千円	%	%	%	%	%
アメリカ	121,300	108,625	16,188,444	103.2	38.7	63.5	27.4	12.3
合 計	121,300	108,625	16,188,444	103.2	38.7	63.5	27.4	12.3

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
* 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。
* 金額の単位未満は切り捨て。
* 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
* S&Pグローバル・レーティング、ムーディーズ・インベスターズ・サービスによる格付けを採用しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄			当 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ			%	千米ドル	千米ドル	千円	
	国債証券	COLOMBIA GLOBAL	8.125	13,000	12,968	1,932,643	2024/5/21
		FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.25	800	779	116,227	2025/1/7
		FED REPUBLIC OF BRAZIL	4.5	15,000	13,403	1,997,560	2029/5/30
		HUNGARY	5.25	15,000	13,109	1,953,734	2029/6/16
		REPUBLIC OF INDONESIA	3.4	7,600	6,648	990,889	2029/9/18
		REPUBLIC OF PERU	4.125	15,000	13,922	2,074,942	2027/8/25
		REPUBLIC OF SOUTH AFRICA	5.875	16,000	13,563	2,021,323	2030/6/22
		ROMANIA	3.0	17,000	14,119	2,104,206	2027/2/27
		UNITED MEXICAN STATES	3.75	2,900	2,625	391,306	2028/1/11
	UNITED MEXICAN STATES	4.5	12,000	10,945	1,631,257	2029/4/22	
	普通社債券 (含む投資法人債券)	PERUSAHAAN LISTRIK NEGAR	5.45	7,000	6,537	974,352	2028/5/21
合 計						16,188,444	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。
* 額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2022年10月24日現在)

項 目	当 期		期 末
	評 価 額	比 率	
	千円	%	
公社債	16,188,444	97.3	
コール・ローン等、その他	456,838	2.7	
投資信託財産総額	16,645,282	100.0	

* 金額の単位未満は切り捨て。
* 当期末における外貨建純資産（16,529,387千円）の投資信託財産総額（16,645,282千円）に対する比率は99.3%です。
* 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1米ドル＝149.03円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2022年10月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	32,043,836,726
コール・ローン等	154,867,624
公社債(評価額)	16,188,444,475
未収入金	15,401,207,729
未収利息	279,756,710
前払費用	19,560,188
(B) 負債	16,360,143,785
未払金	16,331,043,672
未払解約金	29,100,000
未払利息	113
(C) 純資産総額(A－B)	15,683,692,941
元本	13,596,195,472
次期繰越損益金	2,087,497,469
(D) 受益権総口数	13,596,195,472口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,535円

(注) 期首元本額は15,927,649,547円、期中追加設定元本額は9,578,548円、期中一部解約元本額は2,341,032,623円、1口当たり純資産額は1.1535円です。

○損益の状況 (2021年10月26日～2022年10月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,100,668,173
受取利息	1,100,502,175
その他収益金	201,217
支払利息	△ 35,219
(B) 有価証券売買損益	△ 4,083,675,211
売買益	6,230,202,289
売買損	△10,313,877,500
(C) 保管費用等	△ 2,143,023
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 2,985,150,061
(E) 前期繰越損益金	5,714,292,898
(F) 追加信託差損益金	2,521,452
(G) 解約差損益金	△ 644,166,820
(H) 計(D＋E＋F＋G)	2,087,497,469
次期繰越損益金(H)	2,087,497,469

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
* 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

ファンド名	当期末
	元本額
	円
野村エマージング・ソブリン 円投資型1210	3,763,849,407
野村エマージング・ソブリン 円投資型1211	3,310,847,238
野村エマージング・ソブリン 円投資型1212	2,438,438,855
野村エマージング・ソブリン 円投資型1208	2,167,634,509
野村エマージング・ソブリン 円投資型1301	1,179,678,290
野村エマージング・ソブリン 円投資型1302	250,701,907
野村エマージング・ソブリン 円投資型1205	197,782,857
野村エマージング・ソブリン 円投資型1111	151,693,470
野村エマージング・ソブリン 円投資型1203	81,625,305
野村エマージング・ソブリン 円投資型1303	53,943,634

○お知らせ

該当事項はございません。